介護保険事業計画に記載した「取組と目標」等の取組状況及び自己評価結果等（令和5年度分）

市町村名
瀬戸内市

◎ 市町村介護保険事業計画に記載した「取組と目標」に関する評価等

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標

分類	項目名	目標（数値等）	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	介護予防普及啓発	新規立ち上げ教室数 15箇所（140箇所） 参加実人数 50人（1,450人）	新規立ち上げ教室は、令和4年度より継続教室1箇所、令和5年度立ち上げは、2箇所（111箇所）であった。 参加人数は、新規立ち上げ教室が36人、継続教室参加者は、新規立ち上げ教室参加者も含め、1044人であった。	新規立ち上げ教室は、目標の15教室より大きく下回った。参加実人数も、目標値1450人で、新規立ち上げ教室同様、目標を下回った。	地域の中で、新しく取り組もうという地域の発掘が出来ておらず、地域への働きかけを継続し、関係性を築いていく必要がある。地域性（高齢化率、介護認定率等）を見たり、地域ケア個別会議等から、必要な地域に立ち上げの検討していく必要がある。
介護予防	介護予防普及啓発	男性参加割合20% 65歳未満の参加者割合 10%	男性参加者割合を増やすため、男の料理教室に出向き普及啓発を行ったり、10月を参加者増やそう月間とし、増えた教室には特典を用意し、取り組んだ。期間中に参加者が増えた教室は5箇所、人数は8人増、そのうち男性は2名。 男性参加率：17% 65歳未満の参加者割合：2.5%	男性参加率は、17%で目標値（20%）からやや下回っている。 65歳未満の参加者割合は、目標値（10%）より大きく下回っている。	65歳未満の参加者が少なく、担い手不足、また、集いの場が高齢化により休止・廃止になる可能性がある。来年度介護予防リーダー養成講座をするにあたり、介護予防に興味のある若い世代に関心を持ってもらえるような取り組みを検討する必要がある。
介護予防	地域介護予防支援	介護予防リーダー数15人（165人） 介護予防リーダー登録数15人（100人） 活動件数2000ポイント	介護予防リーダー養成研修を行った。新規の介護予防リーダー：8人（137人） 介護予防リーダー登録数：3人(74人） 活動件数ポイント：2246ポイント	介護予防リーダー養成研修を行ったが、目標値の15人を下回った。活動件数ポイントは目標値2,000ポイントを上回っている。介護予防リーダーに登録せず、活動するリーダーの方もおられ、登録数や活動件数ポイントで評価できない状況になっている。	介護予防リーダー養成研修に参加する人は減ってきており、地域の人材発掘に課題を感じている。今年度は、介護予防リーダー養成研修を行わず、興味のある健康教室を行い、不活発リーダーの掘り起こしを行う。

2　介護給付の適正化に関する取組と目標

分類	項目名	目標（数値等）	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
給付適正化	要介護認定の適正化	2200	調査票全件について、内容を精査した。 また、認定調査に同行し、現場の確認も2件行った。	目標は達成。調査票の誤り等是正ができた。また、事務担当者も調査に同行し、認定調査の状況も確認した。	引き続き調査票は細かく精査していく。
給付適正化	ケアプランの点検	34	市内の全指定居宅介護（予防）支援事業者に対し、ケアプランの点検を行った。 点検件数：34件	点検業務を外部に委託し、ケアマネの先生に点検してもらうことで、より専門的な助言ができた。	前年度からどのように変化したかを確認しながら、フォローアップにつなげていきたい。
給付適正化	住宅改修等の点検	住宅改修点検数５件　福祉用具点検数　３０件	住宅改修点検数：２件 福祉用具点検数：３件	R4年度まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、訪問調査に行けていなかったが、R5年度は目標件数には届かないものの、調査に伺い、実態を確認することができた。	R6年度より、住宅改修等の点検がケアプラン点検に集約されることに伴い、ケアプラン点検においても福祉用具が適切に利用されているか等を確認していきたい。